

消毒とは・・・

有毒な病原体（病原微生物） の

感染力をなくすこと



滅菌：全ての微生物を失活



消毒薬の効果に影響を及ぼす要因

- 種類 有効な消毒薬の選択
- 濃度 濃すぎても意味がない
- 温度 消毒薬にあった温度
- 時間 十分に作用する時間
- 有機物 血液、尿、糞便の除去



洗浄が重要！

★ 有機物が残っている場合は、消毒薬は無効

- 界面活性剤の使用
- 油分を除去



消毒薬の種類とターゲット等

消毒薬種類	主な用途	一般細菌	芽胞	ウイルス (エンベロープ無)	ウイルス (エンベロープ有)
グルタール	金属器具	○	○	○	○
次亜塩素酸 ナトリウム	ガラス プラスチック 布類	○	弱	○	○
消毒用エタノール	皮膚、創傷	○			○
イソプロパノール	金属器具等	○			○
ポピドンヨード	皮膚、粘膜	○	弱		○
クレゾール	排泄物	○			
逆性石鹼	幅広く使用可	○			
クロルヘキシジン	幅広く使用可	○			
両性界面活性剤	幅広く使用可	○			

消毒薬の濃度（１）

～塩素系消毒薬の使い方～

対 象	濃 度	使用法
床上などの汚染 (血液、尿、糞便)	0.5% (5,000 p p m)	消毒薬を染み込ませ、 拭き取り
リネン	0.1% (1,000 p p m)	30分以上浸す
	0.02% (200 p p m)	洗浄後の最終 すすぎ水として
食 器	0.02% (200 p p m)	洗浄後に5分以上浸す
プラスチック製 容器	0.01% (100 p p m)	洗浄後に1時間以上浸す

※ 金属の腐食に注意（消毒後に水拭きやすすぎが必要）

消毒薬の濃度（２）

～塩素系消毒薬の希釈方法～

○ 0.1%（1,000ppm）

ペットボトルキャップ：8杯強

水：2リットル

○ 0.02%（200ppm）

ペットボトルキャップ：2杯弱

水：2リットル

【前提】原液：6%、キャップ：約5ml

例）食器、猫トイレなどの消毒

- 1 目に見える有機物を取り除く。
- 2 界面活性剤で洗い、よくすすぐ。
- 3 希釈した次亜塩素酸に漬ける。
通常：5分以上、パルボ等：30分
- 4 水ですすいで乾燥。



例）ステンレス、プラスチックケージ

- 1 目に見える有機物を取り除く。
- 2 汚れがひどいときは、
洗剤をふきかけて洗う。
- 3 水で洗剤をふき取る。
- 4 希釈した消毒薬を噴霧（1分待つ）。
- 5 よく拭き取る。

